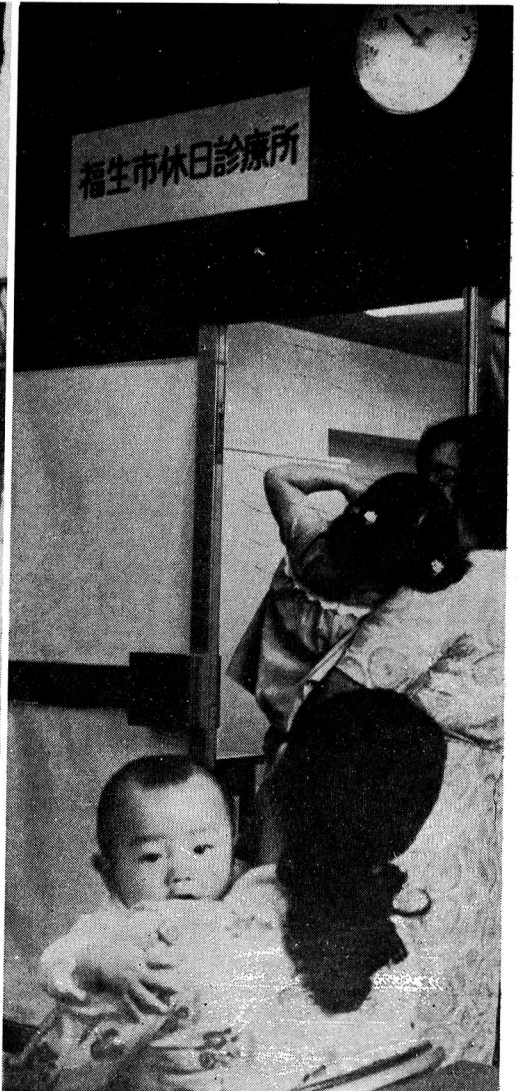
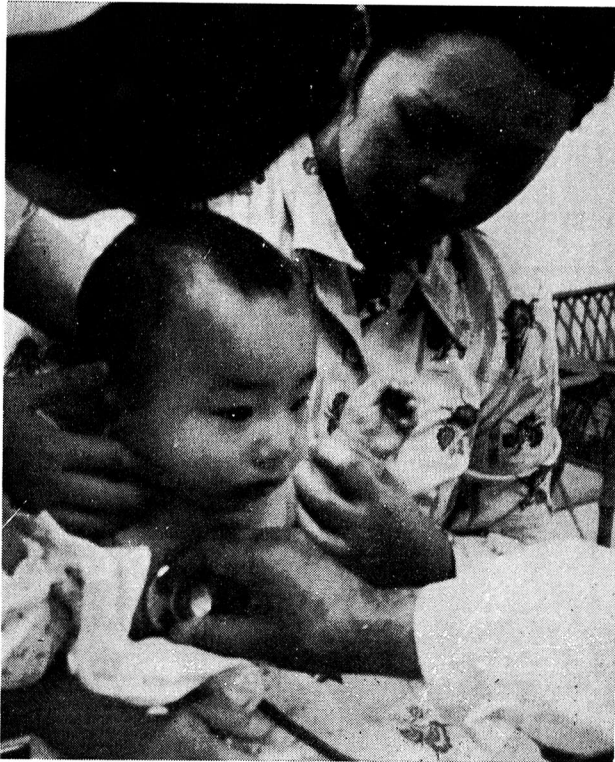


議 会 報

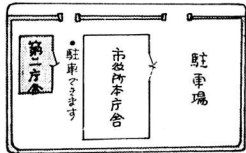
ふつさ

No. 24

昭和50年7月21日
 福生市議会事務局
 ☎ 0425-51-1511(代)



休日診療所 ☎52-0099
(福生市役所第2庁舎)



始まった休日診療

診療受付は、午前9時30分から午後4時30分までに

— 7月1日 —

表彰を受けられた各氏

7月1日をもって市政施行5周年を迎えました。この市政施行記念日に、福生市表彰条例に基づいて議会の同意により、次の各氏が表彰されました。

- 多年市議会議員として市政に貢献した功績**
- ▽石川 信義氏 牛浜七二
 - ▽田村 匡雄氏 福生一一二
 - ▽伊東忠次郎氏 福生一二三
 - ▽石川 繁治氏 熊川七八
 - ▽小林 暢吉氏 熊川一〇〇五
 - ▽森田 秀雄氏 熊川七五一
 - ▽中里 元一氏 福生三四七六
- 多年教育委員会委員及び選挙管理委員会委員として市政に貢献した功績**
- ▽井上 卓三氏 福生四八七

- 多年消防団員として消防に貢献した功績**
- ▽村野 末男氏 福生一一三六
 - ▽森田 勝夫氏 熊川七四三
 - ▽小林 昭氏 熊川五〇五
 - ▽磯村 一氏 本町二
 - ▽吉崎 英男氏 熊川一〇八一
 - ▽細谷 忠作氏 福生五六五
 - ▽石川 俊雄氏 熊川六六
 - ▽石川 和良氏 熊川七八
 - ▽渡邊 治衛氏 熊川九八七
 - ▽清水 雅則氏 熊川三七六
 - ▽森田 治男氏 本町一〇五
 - ▽川島 輝雄氏 本町一三九
 - ▽木村 久雄氏 熊川三〇六

- 道路行政の重要性を深く認識し、道路用地を寄付した**
- ▽木村 ヨシ氏 福生五一
 - ▽長谷川アサ氏 熊川一〇〇〇
 - ▽田村半十郎氏 福生六二六
 - ▽田村 秋男氏 福生一一五二
 - ▽越智 敏夫氏 福生一〇六二
 - ▽高水 惣八氏 熊川三四三
 - ▽石川 芳夫氏 熊川七一二
 - ▽関 四郎氏 熊川一三
 - ▽笹本 浩平氏 福生五六三
 - ▽竹内 倍蔵氏 秋川市草花 三二七九
 - ▽田村 武義氏 福生一〇四



- 多年清掃と美化に励み市政執行に協力した功績**
- ▽関谷 友吉氏 福生一〇三二
 - ▽鍋二福寿会

自治 功労

一般 表彰

社会教育の重要性を深く認識し、少年を対象に指導育成に尽力した功績

- ▽熊川団地少年野球部指導者一同

緑化推進と環境整備の重要性を深く認識し、物件を寄付した

- ▽東京福生ライオンズクラブ
- ▽島田 政男氏 熊川三四八
- ▽木村 義昭氏 福生四七五

統一選挙後、五月から就任した議員にとつて初めての定例会が六月十二日から二十日までの九日間わたつて開かれました。

この定例会には、市政に対する一般質問が七名からあり、十二日には五名の議員により市政の中における国の委任事務についての資料要求も出されるなど、長時間活発に質問がかわされました。

翌十三日には、前日に引き続き一般質問が二名からあつた後、市長から提出された公園が「一カ所できたことによる条例及び一部事務組合の事務所移転による規約の一部改正各一件、七

第2回 定例会

月一日の市制施行記念日に表彰するための人事案件四十五件、三月二十三日から欠員となつていた教育委員の選任を同意し、又住民からの請願、陳情七件を担当の委員会に付託して散会しました。

二十日には、一日目に要求のあつた委任事務の資料説明があつた後、七月十九日に任期満了となる農業委員について議会推せん委員三名を推せんし、付託された請願、陳情の審査報告が委員長からあり、うち五件を採択一件を不採択、一件を継続審査と決定し、今日定例会を閉会いたしました。

審議日程

6月	
12日	本会議・一般質問
13日	本会議・一般質問 議案審議
16日	建設委員会 厚生委員会
17日	総務委員会
18日	議会運営委員会
20日	本会議 委員会審査報告

- ▽石川 茂氏 熊川六八
 - ▽天野 勇氏 熊川五三
 - ▽山岸 克己氏 熊川一六七二
- 学校教育に対し深く認識し、教材として物件を寄付した
- ▽岩田 長二氏 福生一〇四七
 - ▽藤巻 虎義氏 熊川六一六
 - ▽井上 卓三氏 福生四八七
 - ▽大東京信用組合理事長 関水 誠氏 港区東新橋 二一六一〇

自然はみんなの宝

多摩川沿岸整備をはかれ

一 般 質 問

質問 清き多摩川はいまや老いた川になった感じがする。その原因の一つとして青梅、羽村、福生の都市下水路の排水が考えられるが、この都市下水路を進行中の公共下水道に接続させる考えがあるか。又沿岸の自然環境も大切な財産であり、自然林のある柳山公園と多摩川がと

市長 ご指摘の場所については長い歴史もあり、建設省、秋川市、福生市が連携をとりつつ、撤去について話し合いを進めている段階である。多摩川をきれいにする運動についても何らかの団体に呼びかけていきたい。

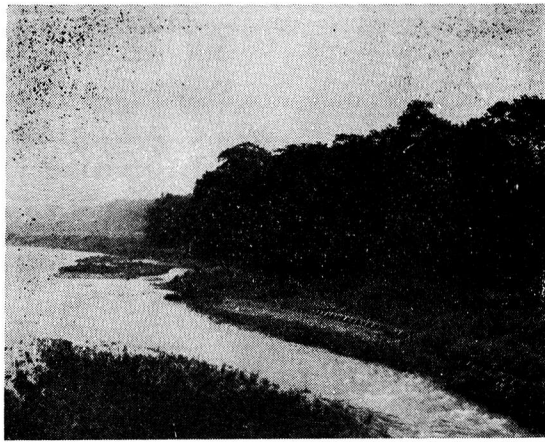
環境保全課長 先日多摩川沿線の関係市が集まり、川をきれいに

する運動を起こそうということ内で定しており、積極的に取り組んでいきたいと思う。多摩橋下流の問題は、河川管理者である多摩川上流事務所や行政区域である秋川市にも要望したが、今後関係者と協議し対策を講じていきたい。

下水道課長 都市下水路を流域下水道に接続することの問題点は一日三万トンの排水量(都市下水路)の使用料が年間一億円以上かかること、又工場排水の有害物質排除の問題がある。昭島市に建設中の流末処理場の稼働時期や流域下水道管理などを考えて接続について検討していくことになる。

都市計画課長 柳山公園整備については、家屋一棟の移転工事など計画事業が完了する。

多摩川沿岸を福生緑地として都



貴重な多摩川沿岸の自然 — 永田橋上流一

市計画決定し、極力河川敷を利用して公園整備を進め、玉川上水公園は五十年、五十一年度で実施し多摩川の自然とバランスのとれた設計をしたい。又砂利採掘あとや川の中の山林化部分について現在建設省と協議を重ねているが、各種の自然環境保護団体とも連絡を

とりつつ整備していきたい。

“地震王国日本”

ふだんの心がけが大切

質問 日本は地震の多い国であり、二次災害の火災がこわいことはご承知のとおりである。関東大震災のときも死者の九〇％は焼死

であったという。当市も昭和四十八年九月一日に市民の多数が参加して避難、通信、消火の訓練が行われ、その成果は得られたと思うが、万一の際の避難方法、広報活動等について、常に地震の心がまえを市民にうえつける必要があると思うがどうか。

市長 心がまえをうえつけることは重要なことであり、八月の防災訓練にはそういうことも含めて予定している。日常のPRも不徹底であるので力を入れていきたい。

環境保全課長 地震時の誘導についても、八月に予定している防災訓練にあわせて実施していきたい。避難誘導板も検討していきたい。

ほしい消防施設

— 青梅線東側 —

質問 火災発生で大切なことは初期消火である。そこで消防車が配置されていない青梅線東側に消防車両を増設する考えがあるか。さらに十分な消火活動をするために、水利の増設や消防団詰所の電話設置についてお聞きしたい。

市長 ポンプ車の増設の考えはないが、先日、青梅線立体交差(福生警察東)が完成し、以前よりはスムーズとなった。今後団長の意見を聞いてみたい。貯水槽の増設も前向きに考えていく。各分団の電話設置は現在検討中である。

環境保全課長 確かに青梅線東

側はポンプ車がないので、福生消防署にも対策を要望しているが、市の消防団側とも協議していき

消防水利は年次計画で進めているが、国ではポンプ車か貯水槽かの一つを補助することにしており、当市はポンプ車を要望しているので貯水槽が遅れたが、計画では年に五基を予定している。消火栓も毎年十基を上水道計画とあわせて予定している。なお貯水槽は全部耐震性が四十立方メートル(ドラム缶二百本分)のもので、災害時の飲料水対策関係とあわせて実施している。

＝緊急時の医療＝ 救急病院は2カ所

休日診療も始まる

質問 現在救急指定病院は、大聖病院と目白第二病院の二カ所であるが、交通事故の増加や市の人口などから不十分ではないかと思うが、市としてどう考えているか。又休日診療を七月から実施するようだが、その内容と夜間診療についてもあわせて聞きたい。

市長 救急病院の指定は、病院側で都の許可を得ることであり、介入はできない。福生病院は外科医の常駐が困難ということで救急指定になっていないが、現実には医師がいる場合は救急病院と同じ

第2回定例会を傍聴

された方々 (敬称略)

- ▽森田万吉▽佐藤三郎▽佐藤邦夫▽遠藤秋男▽東浦春浪
- ▽尾上武市▽笹本俊一郎▽橋本昭夫▽森田芳男▽石川由夫
- ▽高崎武志▽中村三郎▽安藤恒吾▽森村 弘▽吉田達雄
- ▽沢井礎治▽土屋七郎▽星野潤生▽森田徳三▽飯田誠
- ▽大田 稔▽小野沢 久▽山道 前▽浦野秋子▽田中節子
- ▽佐久間登世子▽丸山美恵子▽鈴木キミ子▽成田和子
- ▽高田方子▽金沢トシ子▽西田貴和子▽大塚歌子▽鳥山幸子
- ▽桑原郁子▽島田日出美▽木村トメ子▽森川みつ子
- ▽沢井千代江▽坂本道江▽片貝東枝▽青木久枝▽奥山静子
- ▽関口なお▽森田サト▽橋本タネ▽小沢ハツ▽久保安子
- ▽鈴木ふき子▽井筒紀美子▽柿崎克子▽川辺美世子
- ▽遠藤信子▽安田弥与子▽小黒幸子

ように扱ってもらっている。

休日診療について、福生医師会のご理解で六月九日に契約ができ、七月六日からの休日ごとに午前九時三〇分より午後四時三十分まで受け付けし、内科、小児科について行い、又病院の協力で入院の必要を認めた場合は、福生病院、大聖病院、目白第二病院に即時入院できる態勢が整った。

環境保全課長 休日診療の場所は、第二庁舎(市役所裏)の一階で、期間は昭和五十一年三月三十一日まで、その後は再び契約することになっている。なお病院はたらい回しをしないと、必要な患者は入院させるとのこと、料金の未納があった場合は市が負担するという契約内容になっている。

これを行う場合の経費は、総体的には今年度で保健所の許可を受けするための改修工事や備品などで四百三万円、そのほか料金未納の場合の費用が必要となる。

夜間診療はこれまで休日診療とあわせ医師会側や病院側と話し合っているが、一日も早く安心して生活できるよう努力していきたいと思う。

工事契約 最少経費で 最大効果

質問 低迷を続ける日本の経済状況の中で、一番打撃を受けているのは中小企業者である。当市の中小企業振興の見地から、公共事業発注についてお聞きしたい。

市の工事発注はどのような方法で行われ、昨年度における地元業者との契約はどのくらいか。

大手業者発注に対する下請業者や合弁会社の考え方はどうか。

昨年七月小中学校の空気清浄機

入札結果が一万円の差であったことについて。

市長 公共事業の実施にあたり最少の経費で最大の効果をあげることを基本に、常に厳正公平であるよう注意している。昨年度の入札競争入札が慣例で、少額のものも随意契約である。年度当初に業者の登録を行い、適正を期するため入札参加基準により適格者と判定した業者を指名委員会において選定しているが、できるだけ地元業者を優先するよう努力していき

たい。

企画財政課長 登録業者を規模に応じて四段階に分け、指数の多い業者ほど大きい工事を請負うて

計画事業の 財源確保が心配

質問 当市の四十九年度予算は現在六十六億八千二百五十四千円となっているが、本年三月三十一日現在の財政事情の公表資料によると、この収入率は予算に対し六五%、特に国庫支出金が四七・三%、都支支出金が六四・六%、市債は全額未収入となっている。

これら収入の現況について聞きたい。

市長 基地関係の法律が改正されて初年度であり、法や規則の解釈上時期が遅れているが、五十年

とができる資格を設けている。なお特例により発注に近い市内の業者とか、継続事業の場合は指数ランクを上下して指名を受けられるようになってきている。昨年度の入札契約業者は、地元業者が四十四件その他三十三件、随意契約業者は地元業者百七十三件、その他九十二件となっている。

工事を一括入札して契約するので、大手業者と下請業者の関係に市が直接介入することは適当でないと思う。

昨年七月に行った入札差金の件は、ときには予定価格と同額の場合もあり、機械類が主であったため差金が少なかったものと思う。

企画財政課長 四十九年度決算見込みで、予算現額に対し十二億二千五百四十九万円の減となっているが、これは武蔵野幹線排水路工事の一部が五十年度に繰り越したためで、その他は予定どおり収入されている。なお四十九年度は五千三百六十九万円の剰余金が出る予定であり、健全に推移したといえる。

五十年度の国庫支出金は、大半が国の委託工事である武蔵野幹線排水路工事であり、間違いなく収入されると思う。防衛道路関係は一億九百万円のうち、内示があったのが六千三百万円の継続事業分

議会日誌

日	内容
4月 3日	局長連絡会議
8日	横田基地集約対策特別委員会
11日	三多摩上下水(第三委員会)
13日	都議長会臨時会
14日	東京都知事選挙(投票)
27日	福生市議会議員選挙(投票)
28日	福生市議会議員選挙(開票)
30日	福生警察署管内防犯協会(票)
5月 6日	新議員懇談会
9日	議員懇談会
10日	第三回臨時会
21日	全員協議会
22日	議会編集会議
23日	局長連絡会議
26日	西多摩衛生組合議会
27日	福生市都市計画審議会
28日	横田基地対策特別委員会
29日	等対策協議会
30日	都議長会定例会
	狭山火葬場組合議会
	福生警察署管内防犯協会

のみで、その他は無線工事、消防ポンプ車、学習等共用施設などの内示がきている。市民会館はすでに防衛施設庁が大蔵省と折衝中であり、ある程度のところまでできていようである。その後児童公園や玉川上水公園や屋外運動場が決まるものと思う。

都の支出金は、ご承知の財政事情から大幅に減額となっており、補助金も確たる見通しが持てない状態となっている。

超過負担が増大！ 財政危機に拍車

負担の増大は市財政の圧迫をもたらすことになる。よって当市の国の算定基準による補助事業などの超過負担を説明願いたい。又市行政中本米国が行うべき業務、これも超過負担であるが、そうした委任事務は何件あるか。

企画財政課長 超過負担の実態は非常に複雑で、たとえば建設補助事業の学校建設にしても国の基準単価は平方メートル当たり八万

質問 事業や行政を行う場合に国の算出基準により、たとえば学校工事が一千万円かかるのに、国は八百万円しか負担金や補助金を認めないため地方財政悪化の大きな原因となっている。特に自己財源の乏しい当市にとってこうした超過負担の増大は市財政の圧迫をもたらすことになる。よって当市の国の算定基準による補助事業などの超過負担を説明願いたい。又市行政中本米国が行うべき業務、これも超過負担であるが、そうした委任事務は何件あるか。

円ですが、実際は十三万円かかるという単価差、補助対象面積より多く必要とする場合でも国は認めないという数量差、渡り廊下は補助対象外という対象差など、さらには委任事務による超過負担、この委任事務も非常に広範で、一般行政事務と市固有事務との間に機関委任事務か団体委任事務か明確にできない。これらは地方交付税で措置されることになっていて、四十九年度の超過負担額は、建設事業関係で九千七百四十一万七千円、事務運営事業関係で一億七千八百七十七万一千円となっている。

どうして遅れる 道路工事

質問 市内各所で工事が遅れ、特に通学路の工事にあたってはその配慮が不十分である。現在も山王橋から一中に通ずる電電公社関係の工事は無期限ともいえるもので、この道路の許可条件はどうなっているのか。又市の一般道路工事も遅れている例があるが理由は何か。さらに鍋ヶ谷戸踏切の安全策も、請願が議会で採択され、本年度予算もついていたが、本問題の状況、見通しについて説明願いたい。

企画財政課長 工期は内容によって定めているが、国庫補助事業も会計年度が切近決まってくるものもあるため、工期も短くせざるを得ないとか、工事中に予測

▷農業委員が決まる◁
(議会推せん)

7月9日で3年の任期がくる農業委員のうち、議会側で推せんする委員として次の3人が賛成多数で選ばれました。

(敬称略)

- 竹田政勝 熊川307
- 岩田 博 福生358
- 平井賢治 熊川 28

▷教育委員に
木村和男氏◁

教育委員5人のうち、3月23日より1人欠員となっていた委員として、原ヶ谷戸にお住まいの木村和男氏が賛成多数で同意されました。

しない事態の発生、天候や交通状況などで遅延したものもあるが、今後順守するよう努力したい。

建設課長 工期延長の場合、関係者に十分周知しなかった点があったので、今後理由を申しあげご協力をいただきながら進めていきたい。

質問 加入者増設のケーブル工事を電電公社で行っているが、工事用の薬液が人体に害があることから問題となり、その結論待ちとなった。さらに国鉄の事故防止期間とも重なったため工期が大幅に遅れたもので、市の許可は四十九年二月二十八日から五十年三月三十一日までの条件でしたが、その後六月三十日まで延長され、一応六月二十一日には全線完了するということである。今後はまとめずに一路線ごとで占用許可を出したい。

鍋ヶ谷戸踏切は、十一月完成を目標に警報機設置として進めており、拡幅し防護柵補強などについて国鉄側との協議が終わって、予

日	内容
3月	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会
4日	防衛庁陳情
5日	関東議長会総会
6日	議会運営委員会
7日	東京都市収益事業組合議会
12日	第二回定例会(第一日)
13日	第二回定例会(第二日)
16日	建設委員会
17日	厚生委員会
18日	総務委員会
18日	横田基地視察
20日	議会運営委員会
24日	第二回定例会(第三日)
25日	全員協議会
26日	福生市基本構想審議会
27日	全国議長会総会
27日	仮称市民会館及び公民館建設特別委員会
27日	立川・横田基地対策連絡協議会
30日	横田基地対策特別委員会

質問 耐用年数のきた市営住宅を高層化し、より多くの市民が低家賃で入居できるようにしたらどうかとの問題提起から、議会側の承認も得た事業であるが、払い下げになるとの市の説明を信じて入居したというのが、そうした約束をしたのか、又今後の対処方と見通しを聞きたい。

庶務課長 入居時の記録や書類もないので言明はできないが、市側の考え方を明確にさせるため、基本的には払い下げはしない旨広報でPRした。

第一次計画として十五戸をこわすが、五戸がすでに処置され、二戸が都営住宅に申し込み中であることなどを考え、工事を現在中止している。今後も説得を続けていきたい。



《福生駅》

東西連絡路

地下道が橋上に

質問 石油パニックによる売り

上げの減少に加え、東口の大型店舗の進出は想像以上に影響が大きく、深刻な危機に直面している現状である。商業振興対策として、

福生駅東西連絡通路の早期実現の声が高まり、市当局もこの問題に積極的に取り組まれた結果、ほぼ実現するやに聞いている。その連絡路は当初の地下道から橋上に変更されたと聞くが理由は何か。又ホーム北側の踏切は車両通行止めで安全であるが、南側踏切は狭い上に車両も多く学童は危険である。この拡幅はできないものか。さらに老朽化した駅舎改造についてもあわせてお聞きしたい。

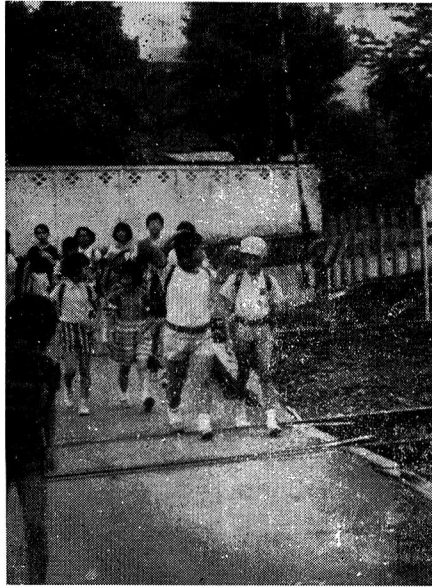
市長 市民の便利さ、商業振興などから東西連絡路の希望をもって。近隣の駅舎改造は全部一般からの寄付で建設をしているが当市は大工場も少なく、資金を集めるのは困難であるので、防衛施設庁に働きかけたわけである。地下道だと何年かかるようで、防衛施設庁側の予算との関係もあり、市も長く待てない。橋上なら設計も早くできるし、将来は橋上駅にするなら全体計画の中で通路だけでも先行して建設しようということである。現在のところ防衛

施設庁が大蔵省と折衝中であり、はっきりいえないができれば五十年、五十二年でやりたいので、より運動をしたいと思っている。

都市計画課長 この事業の補助対象や金額はまだはっきりしないが、計画は橋上駅舎の一部として

国鉄と協議が成立すれば十月ごろに先行着手することになってい。将来駅舎改造や駅ビル構想も出てくることも考え、地下道を橋上通路にかえたわけである。

踏切については、北側の踏切は国鉄側の条件として連絡路が完成すれば閉鎖するということ、南側の踏切は都道であるため、国鉄側



閉鎖条件の駅北側踏切り

中学でも

完全給食を

質問 児童、生徒に栄養のバラ

ンスがとれた正しい食事のあり方を体得させ、給食を通して人間関係を育成するために学校給食が行われてきたと思う。そこで小学校と同じように、中学校も完全給食

をやってほしいとの声が母親からあがっている。生徒の人間関係の育成をはかるため、教育活動の一環としても完全給食をやるべきだと思うが、その考えがあるか。

市長 学校側の決意が示されれば、議会側とも相談し給食工場をつくるのはやぶさかではない。

教育長 都下二十六市の中学校のうち給食実施校は二九%で、そ

議 会 を 傍 聴

しましよ

次の定例会は

9月に開かれます

では道路が広くなった分だけ踏切を拡幅したいというが、都側では拡幅は早期には不可能のようである。しかし踏切の南側は市の区画整理区域であるので可能と思うが、問題は北側であるので、今後とも都と折衝をしていきたい。

一 区画整理一

進 ま ぬ 加 美 平

質問 長年の懸案事業である加美平の区画整理事業に注がれた一般会計からの繰り出しも、本年度を含め一億五千五十万半分に相当する額で、これ以上見逃すことはできない。この事業の現状と見通しを聞きたい。

市長 この事業については私も市民に謝るしかない。羽村町側では土地買収も終わり工事着手の段階であり、当市も五十年度に終わる約束で努力してきたが、現状のままでは迷惑をかけるので万一の場合は踏み切らざるを得ない。昨日も協議会を開いたが、再度関係者と話し合うことになっているので懸命に努力したいと思う。

都市計画課長 反対者が主張されている大部分は、基本となる全区域の換地計画として実施しているの不可能な点が多い。又計画時点からの感情的問題もからみ、折衝は続けてきたがさらに円満解決のため努力していきたい。

この事業は本年度で完了することになっているが、今から着手しても五十一年まではかかる。事業費についても都も財政的に苦しいようだが、強く運動していきたい。

まちまちのクラブ活動

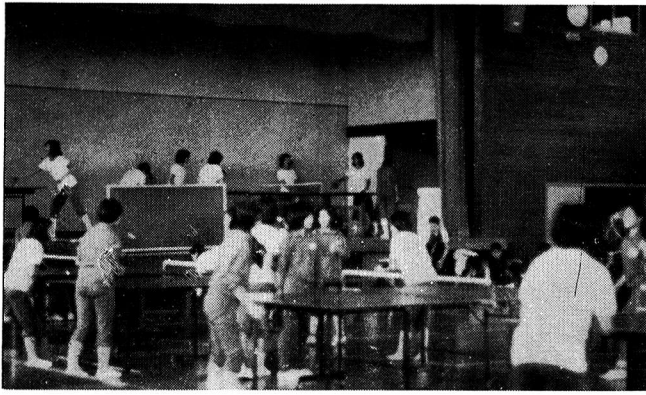
原因はなに？

質問 当市の中学校におけるクラブ活動は統一されていないようであるが、特に運動部関係について調査などしたことがあるのか。

教育長 四十七年にクラブ活動が授業の必修科目となり、当市では全生徒が一定時間参加する授業

活発なクラブ活動

— 二 中 体 育 館 —



として実施している。一般にいわれる時間外の課外クラブは各学校の自主性にまかされ、二中では行っているが一中、三中では実施しない方針を決めたものと思う。校長は教職員に対し課外活動などの時間外勤務を命ずることができない旨の訓令があり、教職員の自主的奉仕でやっていることである。

質問 通勤者にとつて市役所の諸証明を取るためには休まなければならないことが一つの悩みになっているが、この問題を解決するため、駅や団地などに市役所の連絡所を設けたらどうか。

できるには帰る証明書

質問 通勤者にとつて市役所の諸証明を取るためには休まなければならないことが一つの悩みになっているが、この問題を解決するため、駅や団地などに市役所の連絡所を設けたらどうか。

又住民の声を直接市政に取り入れるために、移動市民相談なり納涼市民相談などを開く考えを持っているか。

市長 過去にもそのような話があり、市中のたばこ屋さんなどに委託についてあたってみたが

実現しなかった。当市は面積が狭いので他市より利便はあると思うが、しかし一層の利便を考えると、今後公共施設などができた場合、電送ということもあるので研究していきたい。

市民相談については、効果の点に問題があり、私が直接参画し形式だけにならないかということ、以前二カ所で集会をしたことがあつたが、個人的な日頃の行動から市民の声を直接聞いてもいるが、今後研究していきたい。

市民課長 支所、出張所のある

立ち遅れの

心身障害者対策

質問 心身障害者を持つ保護者の苦しみは察するにあまりあり、その悲しい記事が連日新聞にも報道されている。当市の長期計画にも学齢前のそうした福祉施設の計画がされているが、その構想などを聞きたい。

市長 まだ当市には心身障害者の施設はないが、本来は国や都が建設すべきであると思う。貧弱な財政であり、市民会館や図書館などの建設が終わった後に、都市環境づくりのため福祉施設に取りかかるといふ考えである。

福祉事務所長 最近都の施設として精薄者施設が八王子市に、又

市ではそこで諸証明が出せるようになってきている。その他たばこ屋や団地の管理事務所などを連絡所としてやる場合、台帳は市役所にあるため限られた範囲となり件数も少ないようである。住民サービスとしてより利用しやすいような方法を検討中である。

庶務課長 最近市民相談も浸透し、市政相談件数も多くなつてきたが、現在やっている各種相談でも苦情が多く、市長の市民相談を行った場合の効果も検討した上で研究していきたい。

軽度精薄者が簡単な作業を習得するための施設が青梅市にできたが、これらは一市町村では財政的にも困難である。

市が直接収容できないにしても、ホームヘルパーを通じその家庭と連絡を取ってやっていく考えである。なお都下二十六市の会合でも毎年国や都に対し、そうした問題について要望書を提出し運動を続けている。

質問 当市で身体・心身障害者の手帳を交付されている障害児が約三十八人で、一小の福原学級や普通学級に四人在学している。そのほかは都立養護学級に在学しているが、これら障害児及び保護者の声を真剣に聞き入れ、養護学級に障害の程度により適正と認める児童を入学させるのが適当な教育方法であり、市としても養護学級

設置などの具体策をねるべきだと思う。又先進都市のように障害幼児保育についてもお聞きしたい。

教育長 心身に故障があるため普通学級に通学できない児童生徒に対し、都道府県が専門学校を設置して教育を行うよう法で義務づけられ、市町村では障害の軽い児童を対象とした特殊学級を設置することができるようになっている。

当市は四十七年から第一小学校で福原学級ができ喜ばれているが、養護学級は重い身障者を対象とした施設であり、財源もたいへんかかるようであるので、今後の研究課題としていきたい。なお羽村町に都立の養護学級が開設され、バスが出ているので、当面養護学級での教育を願いたいと思つている。

福祉事務所長 児童福祉法からすると、保育に欠けることが大きな条件となっており、市独自で障害児保育を行っている意見も聞いているが、一般児と一緒にやるのがいいのかどうか、保護者と園側の意見が分かれたところもあるようである。市としても障害児保育に関する保母研修結果をみても、施設や一般児との問題、幼児の送り迎えの問題などがあり、困難な点もあるようだが、最近関心を持たれている問題であるので、さらに研究していきたい。

図書館の理想像は

本館一、分館二

質問 福祉会館及び体育館の図書館も大変好評で、四十九年度実績も十万二千五百九冊、市民一人当たり二・二四冊の貸し出しを受けたことになる。しかしおとなの貸し出しが全体の三〇％以下であり、一般の蔵書が少ないためだと思ふ。又四小学区にできる学習等教養施設に図書室ができるということですが、今後当市の図書館をどうもつていくのか。

市長 市民会館建設に着手しており、その後図書館建設に取りかかりたい。当市の面積等から考え本館一、分館二が望ましいと思ふ。

教育社会教育課長 都のプロジェクトチームによれば、当市は二千万メートル程度の中央館一、三百五十万メートル程度の地区館二が理想的のようで、コミュニティ施設としての学習等併用施設にも図書館分館として多少含めていき、現在の福祉会館内の図書館は児童向け図書として進めているが、今後中央図書館との関係もあるので、体育館内の図書室や全体のコミュニティ施設とも考え合わせ進めていきたい。



加美平団地

都の浄化槽補助

47、48年度分は

質問 都は、四十六年度より団地の汚水浄化槽に補助金を支給することになり、熊川団地では四十六年度から補助されたが、同じ供給公社である加美平団地は、複雑な浄化槽とすることで四十七年度から対象となったもののまだ支給されていない。しかし四十九年度

声が多い

保育問題

質問 認可保育園は乳児保育定員が少ないために無認可に預けている人が多く、その負担も大変である。そのために市補助金の増額をする考えはあるか。

最近産休あけ(四十三日)からの乳児保育の声が激増している。しかし当市には乳児保育の公立施設がないため、婦人が働くためには早くから預ける人を捜す状態である。この解決策をどう考えているか。

市立保育園の保育時間は、平日は午前八時より午後四時半、土曜は午前中となっているが、都立保育園のように長時間保育の希望が多くなっている。市立保育園も行う考えがあるか。

分は四月に支給されたということですが、当然四十七年度、四十八年度分も支給されるべきものである。その補助金算出も告示方式と実績方式とあるが、いずれによつて補助する考えかお聞きしたい。
環境保全課長 六月に住宅供給公社と打ち合わせをし、四十八年度分について都に補助金を出してもらおうよう努力中であり、今後はスムーズに事務が進むと思う。又実績方式だと支給が遅くなるので告示方式でやりたいと考えている

福祉事務所長 市では二カ所の無認可保育所と契約し、十五名の定員に対し、一カ所が十名、一カ所が八名入っている。それにし都一万円、市二千円の補助を施設に対して出している。なお市はすでに増額しているが、都では七月ごろから増額すると聞いている

昨年この関係の陳情書が議会側で不採択となったが、仮にゼロ歳児保育をするとしても現在の施設を増改築などしなければできず、現時点での産休あけからの保育は考えていない。
保育時間は、市では平日、土曜も真に必要なと認められた場合に保母二人が午後五時まで実施している。現在特例保育について準備を進めているが、欠員となっている保母も有資格者を採用して時差出勤の形で実施したい。

請 願 陳 情



▽採 択

◇請願第一号 武蔵野台二丁目町会集会所建設に関する請願書
武蔵野台一―一七―八
羽生田勝商氏 外三五三名
(昭50・5・31提出)

◇陳情第三号 母子福祉会に対する補助金の交付に関する陳情書
熊川一三九一
福生市母子福祉会会長
船沢美代子氏 外一八名
(昭50・6・1提出)

◇陳情第四号 教育施設整備に関する陳情書
武蔵野台一―二六
福生市PTA連合会会長
大須賀俊雄氏 外八名
(昭50・6・4提出)

◇陳情第五号 夏季手当等に関する陳情書
熊川一八三〇
全日本自由労働組合東京支部
福生分会委員長 西村秀吉氏
(昭50・6・9提出)

◇陳情第六号 民間日雇労働者の夏期手当支給に関する陳情書
立川市曙町二―一五―二〇
立川民間自由労働者組合
執行委員長 渡辺 仁氏
(昭50・6・11提出)

◇陳情第二号 警報機設置反対に関する陳情書
熊川五二八―七
遠藤秋男氏 外二六名
(昭50・5・20提出)

◇請願第二号 建設国民健康保険加入者への補助に関する請願書

暑中お見舞申上げます。
今回から新しく編集委員となり
ましたのでよろしく

岩田 博 村尾 栄次
松山 清 竹田 政勝
宇佐美良時 田村 市郎
小●林菊三 大野 行夫
貫井喜代次 川窪 清一

▽不 採 択

◇陳情第二号 警報機設置反対に関する陳情書
熊川五二八―七
遠藤秋男氏 外二六名
(昭50・5・20提出)

◇請願第二号 建設国民健康保険加入者への補助に関する請願書

暑中お見舞申上げます。
今回から新しく編集委員となり
ましたのでよろしく

岩田 博 村尾 栄次
松山 清 竹田 政勝
宇佐美良時 田村 市郎
小●林菊三 大野 行夫
貫井喜代次 川窪 清一

あ と が き

暑中お見舞申上げます。
今回から新しく編集委員となり
ましたのでよろしく

岩田 博 村尾 栄次
松山 清 竹田 政勝
宇佐美良時 田村 市郎
小●林菊三 大野 行夫
貫井喜代次 川窪 清一

岩田 博 村尾 栄次
松山 清 竹田 政勝
宇佐美良時 田村 市郎
小●林菊三 大野 行夫
貫井喜代次 川窪 清一

岩田 博 村尾 栄次
松山 清 竹田 政勝
宇佐美良時 田村 市郎
小●林菊三 大野 行夫
貫井喜代次 川窪 清一

岩田 博 村尾 栄次
松山 清 竹田 政勝
宇佐美良時 田村 市郎
小●林菊三 大野 行夫
貫井喜代次 川窪 清一